

令和2年度

苫小牧市立病院新改革プラン評価報告書

令和2年11月

苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会

目 次

1	はじめに	1
2	新改革プランに対する点検及び評価結果	
	(1) 委員会としての具体的な評価手法	2
	(2) 委員会評価	2
	苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅰ	5
	苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅱ	7
	苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅲ	9
	【附属資料】	
	委員名簿	10
	委員会の開催状況等	11

1 はじめに

本委員会は、平成29年2月に策定された「苫小牧市立病院新改革プラン」の進捗状況に対する点検及び評価、市立病院の経営状況に係る専門的な意見を提言することを目的として、医療関係、経済界、学識経験者からなる外部委員で構成された評価委員会である。

今年度は、計画期間の4年目である令和元年度分について、点検及び評価、並びに意見提言を求められた。

点検・評価手法は、平成29年2月に策定されたプランと令和元年度決算を踏まえたローリング版について、市立病院が令和元年度目標値と令和元年度実績値を比較することにより、自らの経営状況を評価した自己評価に基づき、委員会での審議を重ねた。具体的な評価・意見等については、本編に示したので御覧いただきたい。

経営状況としては、東胆振医療圏域の中核病院として、経営資源をおおむね適正に活用し、地域医療に貢献していることがうかがわれるものであったが、目標未達成の項目については、令和2年度に目標が達成されることを期待する。

今後も、医療を取り巻く状況は依然として厳しく、新型コロナウイルス感染症の影響など、先行き不透明な要素も多くあるが、東胆振医療圏域の中核病院として、高度・政策医療の充実に努めるとともに、計画期間内に安定的な経営基盤を確立されることを希望する。

令和2年11月

苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会

委員長 豊田 健一

2 新改革プランに対する点検及び評価結果

(1) 委員会としての具体的な評価手法

苫小牧市立病院が策定した「苫小牧市立病院新改革プラン自己評価（令和2年9月苫小牧市立病院）」（以下、病院評価）に示された自己評価について、病院から項目ごとに説明を求め、内容を審議した。評価基準は病院評価と同じものを用いることとした。

特に病院評価と委員会としての評価・意見が異なるものについては、委員会としての評価及び意見を付した。

[評価基準]

A：プランの目標値を余裕をもって達成し、ある程度の付加価値が生じた。

B：プランの目標値は達成した。

C：プランの目標達成に向けて取組みはしているが、現状未達成である。

D：プランの目標達成に向けて取組めていない。

E：検討して（されて）いない。

—：評価対象外

(2) 委員会評価

[総評]

今年度は計画の4年目であるが、病床利用率の低さや医師の安定確保など病院経営に直結する項目において目標を下回っており、結果的に経営指標を表す項目で病院評価、委員会評価ともに「C」評価としているものも散見される。

東胆振医療圏域の中核病院として、質の高い医療を継続的に提供するためには、これまで以上に経営基盤を強化し、維持可能な運営体制を早期に構築することを期待する。

なお、「D」評価（「取組めていない」）、「E」評価（「検討していない」）とされている項目はなく、全ての評価項目について病院として取り組んでいることを確認した。

〔個別項目の評価〕

委員会審議の結果、病院評価と違う委員会評価としたもの、また、特に評価・意見を付すこととしたものについて、以下に示す。

評価項目 I 【医療機能・経営指標】

・ 【医療機能等指標に係る項目】

項番 1 「救急患者数」

市立病院と王子病院の救急患者数の差は、診療科や診療体制の特性により、患者の症状に適した病院を選択していることなどが影響しており単純に比較はできないということであった。

受入患者数は増加していることから、引き続き地域の医療機関と連携、役割分担を図りながら、積極的に患者を受け入れることを期待する。

項番 2 「手術件数」

ロボット支援手術は保険適用が順次拡大されていることから、他の診療科への適用を図り、症例数を重ね、多くの患者にこの手術手技が適用されることを期待する。

・ 【収支改善に係る項目】

項番 5 「医業収支比率」

目標との乖離幅が拡大しており、特に入院収益の大幅な減収が顕著である。患者 1 人当たりの入院単価を上げるなど、早急に増収となる改善努力を期待する。

・ 【経費削減に係る項目】

項番 9 「後発医薬品(ジェネリック)使用割合」

実績値が目標値よりも大幅に上回っている。引き続き、高い割合で維持していくことを期待する。

- ・ **【経営の安定性に係る項目】**

- 項番 1 3 医師数(臨床研修医等も含む)

- 常勤医の確保が年々厳しくなっている状況は理解しているが、医師不足は医業収益に大きく影響するため、非常勤医師の活用など様々な方策を図り、安定した医師確保が継続できることを期待する。

評価項目Ⅱ【具体的な取組】

- ・ **【医療従事者の確保・育成】**

- 項番 6 「働きやすい院内環境の整備など」

- 院内保育所において、生後 5 7 日以降の乳児受け入れを実施し、医師が早期復職できたことは、職員不足解消の有効な方策として評価に値する。

- ・ **【収入増加（維持）への対策】**

- 項番 1 0 「ハイケアユニット（HCU）の運用」

- 脳神経外科の入室基準や運用方法を見直し、病床稼働率が上昇したことは評価に値する。今後も、増収につながる新しい方策を期待する。

- ・ **【経費削減（抑制）への対策】**

- 項番 1 3 「後発医薬品（ジェネリック医薬品）の拡大」

- 実績値が目標値を大幅に上回っていることから、病院の評価は「B」としていたが、委員会としては「A」とする。

個々の評価項目に対する本委員会の評価及び意見の一覧については、5～9 ページに示した。

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目 I

【医療機能等指標に係る項目】

項番	項目	元年度 目標値	元年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
1	救急患者数	4,500	5,159	A	A	市立病院と王子病院の救急患者数の差について、診療科や診療体制の特性により、患者の症状に適した病院を選択していることなどが影響しているものと分析している旨の回答があり、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
2	手術件数	2,500	2,590	B	B	ロボット支援手術は保険適用が順次拡大されていることから、多くの患者にこの手術手技が提供されることを期待する。評価は、病院評価と同評価とする。
3	紹介患者数	10,000	8,995	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。

【収支改善に係る項目】

項番	項目	元年度 目標値	元年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
4	経常収支比率	99.9	96.6	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
5	医業収支比率	93.1	88.0	C	C	目標との乖離幅が拡大しており、特に入院収益の大幅な減収が顕著である。患者一人あたりの入院単価を上げるなど、早急に増収となる改善努力を期待する。評価は、病院評価と同評価とする。
6	資金不足比率	7.2	14.2	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目 I

【経費削減に係る項目】

項番	項目	元年度 目標値	元年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
7	職員給与比率	52.0	54.4	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
8	材料費比率	21.8	22.3	C	C	
9	後発医薬品 (ジェネリック)使用割合	79.0	97.1	A	A	

【収入確保に係る項目】

項番	項目	元年度 目標値	元年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
10	病床利用率	79.0	72.1	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
11	入院単価	58,700	57,238	C	C	
12	外来単価	12,600	12,800	B	B	

【経営の安定性に係る項目】

項番	項目	元年度 目標値	元年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
13	医師数 (臨床研修医等も含む)	79	73	C	C	常勤医の確保が年々厳しくなっている状況は理解しているが、医師不足は医業収益に大きく影響するため、非常勤医師の活用など様々な方策を図り、安定した医師確保が継続できることを期待する。評価は、病院評価と同評価とする。
14	企業債残高	9,374	9,343	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
15	一時借入金残高	1,123	1,913	C	C	

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅱ

【医療従事者の確保・育成】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
1	安定した医師確保	28年度～	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
2	看護師、コメディカルなど診療体制に見合う人材確保	28年度～	B	B	
3	初期臨床研修医受入体制の強化	28年度～	A	A	

【医療従事者の確保・育成】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
4	院内研修等による多職種連携の更なる推進	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
5	認知症ケアチームなどのチーム医療の強化	28年度～	B	B	
6	働きやすい院内環境の整備など	28年度～	B	B	院内保育所において、生後57日以降の乳児受け入れを実施し、医師が早期復職できたことは、職員不足解消の有効な方策として評価に値する。評価は、病院評価と同評価とする。
7	医療機関・介護施設等、多職種との情報交換会の開催	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅱ

【収入増加（維持）への対策】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
8	急性期一般入院基本料1（旧7対1入院基本料）などの施設基準の維持	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
9	地域包括ケア病棟の活用	28年度～	B	B	
10	ハイケアユニット（HCU）の運用	28年度～	B	B	脳神経外科の入室基準や運用方法を見直し、病床稼働率が上昇したことは評価に値する。評価としては、病院評価と同評価とする。
11	かかりつけ医との連携強化	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。

【経費削減（抑制）への対策】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
12	医療機器の効率的で効果的な更新整備	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
13	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の拡大	28年度～	B	A	実績値が目標値を大幅に上回っていることから、病院評価は「B」としていたが、委員会としては「A」とする。
14	材料費価格の適正化	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
15	エネルギー診断等による光熱水費の削減	28年度～	B	B	

【その他】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
16	院内スペースの狭隘化解消	29年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
17	経営形態の現状と見直しの方向性	29年度～	—	—	

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅲ

【毎年度の収支計画】

単位：百万円

項番	収益的収支	元年度 目標値	元年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
1	病院事業収益	10,858	10,483	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
2	医業収益	9,612	9,074	C	C	
3	入院収益	6,260	5,769	C	C	
4	外来収益	2,570	2,530	C	C	
5	その他	782	775	C	C	
6	医業外収益	1,215	1,378	A	A	
7	特別利益	31	31	B	B	
8	病院事業費用	10,887	10,876	A	A	
9	医業費用	10,321	10,313	A	A	
10	職員給与費	4,997	4,934	A	A	
11	材料費	2,095	2,027	A	A	
12	経費	2,302	2,510	C	C	
13	その他	927	842	A	A	
14	医業外費用外	520	508	A	A	
15	特別損失	46	55	C	C	
16	経常収支	▲ 14	▲ 369	C	C	
17	当年度純損益	▲ 29	▲ 393	C	C	
18	内部留保資金	751	726	-	-	

項番	資本的収支	元年度 目標値	元年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
19	資本的収入	752	1,157	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
20	企業債	300	289	B	B	
21	他会計負担金等	451	861	A	A	
22	その他	1	7	B	B	
23	資本的支出	1,126	1,790	C	C	
24	建設改良費	330	994	C	C	
25	企業債償還金	754	753	B	B	
26	その他	42	43	B	B	
27	資本的収支	▲ 374	▲ 633	C	C	

28	その他資金変動額	▲ 273	▲ 115	-	-	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
29	単年度資金収支	75	▲ 415	C	C	
30	累積資金収支	▲ 1,462	▲ 2,058	C	C	

31	資金不足算入対象外流動負債	768	762	-	-	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
32	資金不足額	694	1,296	C	C	
33	資金不足比率	7.2	14.2	C	C	

【附属資料】

委員名簿

区分		所属	役職	氏名	備考	
医療関係	委員	委員長	一般社団法人 苫小牧市医師会	副会長	豊田 健一	
		副委員長	一般財団法人 ハスカッププラザ (苫小牧市保健センター)	専務理事	棒手 由美子	
			北海道胆振総合振興局保健環境部苫小牧地域保健室(苫小牧保健所)	次長	野尻 彰生	・R2.9.29委嘱 ・前任者 高橋英俊
経済界	委員		苫小牧信用金庫	常務理事	蓮沼 政浩	
			苫小牧商工会議所	専務理事	森本 恭行	
			苫小牧消費者協会	副会長	伴辺 久子	
学識経験者		苫小牧駒澤大学	学長	有澤 恒夫	・R2.4.20委嘱 ・前任者 川島和浩	
事務局		苫小牧市	副市長	福原 功		
		市立病院	院長	松岡 伸一		
			事務部長	佐々木 薫		
			次長	桐木 賢		
			経営管理課長	那須 哲也		
			医事課長	小林 泰賀		
			地域医療連携室 主幹	名越 真浩		
			経営管理課 課長補佐	駿河 まゆみ		
			経営管理課 財務係主査	桑島 敬輔	庶務担当	
			経営管理課 財務係主任主事	福原 裕人	庶務担当	

令和2年度 市立病院新改革プラン評価委員会 審議日程

1 評価委員会・市議会審議日程

日付	内容	備考
9月	第1回評価委員会（持ち回り開催） 自己評価書提示、指摘事項・質問等の受付	委員に資料を送付
10/2	市議会決算委員会 新改革プランローリング版提示	
10/6	第2回評価委員会開催 自己評価の審議	持ち回り開催
11/17	第3回評価委員会開催 委員会評価作成及び決定	持ち回り開催
11/26	市長へ委員会評価報告書提出	委員長、副委員長出席
12月	市議会議会（厚生委員会） 委員会評価報告書を提出	

2 評価委員会の開催場所等

	日時	場所	備考
第1回	9月	持ち回り開催	自己評価書の内容について個別に説明
第2回	10/6（火）	持ち回り開催	委員からの意見に対する回答を個別に説明
第3回	11/17（火）	持ち回り開催	評価書の内容について聴取

3 市長への評価報告書提出の開催場所等

日時	場所	内容	備考
11/26（木）16：00～	市役所	委員長、副委員長から 市長へ評価報告書を提出	